

“水中探索” 楽しんで、県内初の「ゆめ水族園」

国立病院機構宇都宮病院

重症心身障害児（者）の人たちに水族館の雰囲気を楽しんでもらおうと、水中映像を室内に投影する「ゆめ水族園」が8月10日、下岡本町の国立病院機構宇都宮病院で開かれた。魚などが目の前にいるような非日常の世界が広がり、患者やその家族がひとときの“水中探索”を楽しんだ。本県での開催は初めて。

「ゆめ水族園」は、セイコーエプソン（長野県諏訪市）が主要製品の1つであるプロジェクターを活用して開発した投影システム。映像は全国の水族館や動物園、沖縄の海で撮影した。社会貢献活動の一環として、各地の特別支援学校や病院を無償で巡回している。

同病院の重症心身障害病棟は現在、3～66歳の82人が入院している。平均在院期間は25.4年。人工呼吸器を24時間装着する超重症児（者）もいる。

今回の試みは、水族館に出掛ける機会がほとんどない患者に癒やしなどを提供する目的で、病院側が同社に依頼して実現した。

水中を泳ぎ回る熱帯魚やペンギン、ゆったりと漂うクラゲ……。療養指導室の壁や天井、床に映像が次々と映し出され、ゆったりとした音楽が流れた。

天井からつるした柔らかい布にも投影し、室内全体が幻想的な雰囲気に。車椅子で横になった患者や家族もゆったりとした様子で眺めた。移動が困難な患者のために移動式の投影機も準備され、病室で楽しんでもらった。

患者の永井香世さん（20）の母由美子さんは「想像以上の迫力でびっくり。娘も声を出して笑うなど楽しんでいた」と喜んでた。

（下野新聞・宇都宮 2016年8月12日）

お知らせ

「運動器疾患及びウロギネコロジー疾患に対する骨盤底筋群の評価と治療」セミナー

米国にて骨盤底機能の第一人者の理学療法士であるKathe Wallace先生をお招きしてセミナーを開催します。さらなる知識および技術の研鑽を希望される先生方のご参加をお待ちしております。

日程：2017年1月10日（火）～12日（木）

時間：9:00～17:00（受付開始：8:40）、12日（木）は15:30終了予定

会場：東京衛生学園専門学校（東京都大田区大森北4-1-1）

講師：Kathe Wallace（Kathe Wallace Physical Therapy, PT, BCB-PMD）

対象と条件：

- ・理学療法士
- ・医師、看護師、助産師、作業療法士の方も受講可能です。受講希望の方はウィメンズヘルスの問題などで一緒に取り組まれている理学療法士の氏名を必ず申し込み理由の欄に記入をしてください。
- ・妊娠中または妊娠の可能性のある場合は受講できません。

参加費：86,000円

募集人数：40名

セミナー概要：1. 骨盤底筋群の4つの機能の確認／2. 女性の骨盤底に存在する筋群、靱帯、骨そして

筋膜の連結を確認／3. 骨盤底機能不全に対してスクリーニングするための問診の確認／4. 女性の骨盤底機能不全に対する3つのリスク因子の確認／5. 骨盤底筋群の筋力または長さの変化に影響を与える3つの因子の確認／6. 骨盤底筋群の評価、収縮、弛緩そして長さの評価（衣服の上からの評価）／7. 内転筋、股関節回旋筋群の停止部と同様に骨盤隔膜、尿生殖三角、肛門三角筋を含んだ骨盤周囲筋の触診と治療／8. 多様な患者に対する骨盤底筋群の口頭指示によるエクササイズと3つの異なった指示によるリリース／9. 骨盤底機能不全に対する横隔膜、腹部筋（DRA：腹直筋離解を含む）、下肢の負荷伝導による評価（ASLR-active straight leg raise）／10. 骨盤底筋群の収縮と弛緩が与える姿勢とポジショニングの評価／11. 骨盤底機能不全につながる行動習慣やライフスタイル、姿勢や運動パターンの同定／12. 膀胱機能や姿勢調整、ボディメカニクスを含んだライフスタイルに対する患者教育と治療。

申し込み方法：下記URLよりお申し込みください。

フィジオセンター 専門家セミナー向け情報
<http://www.irc-seminar.jp>